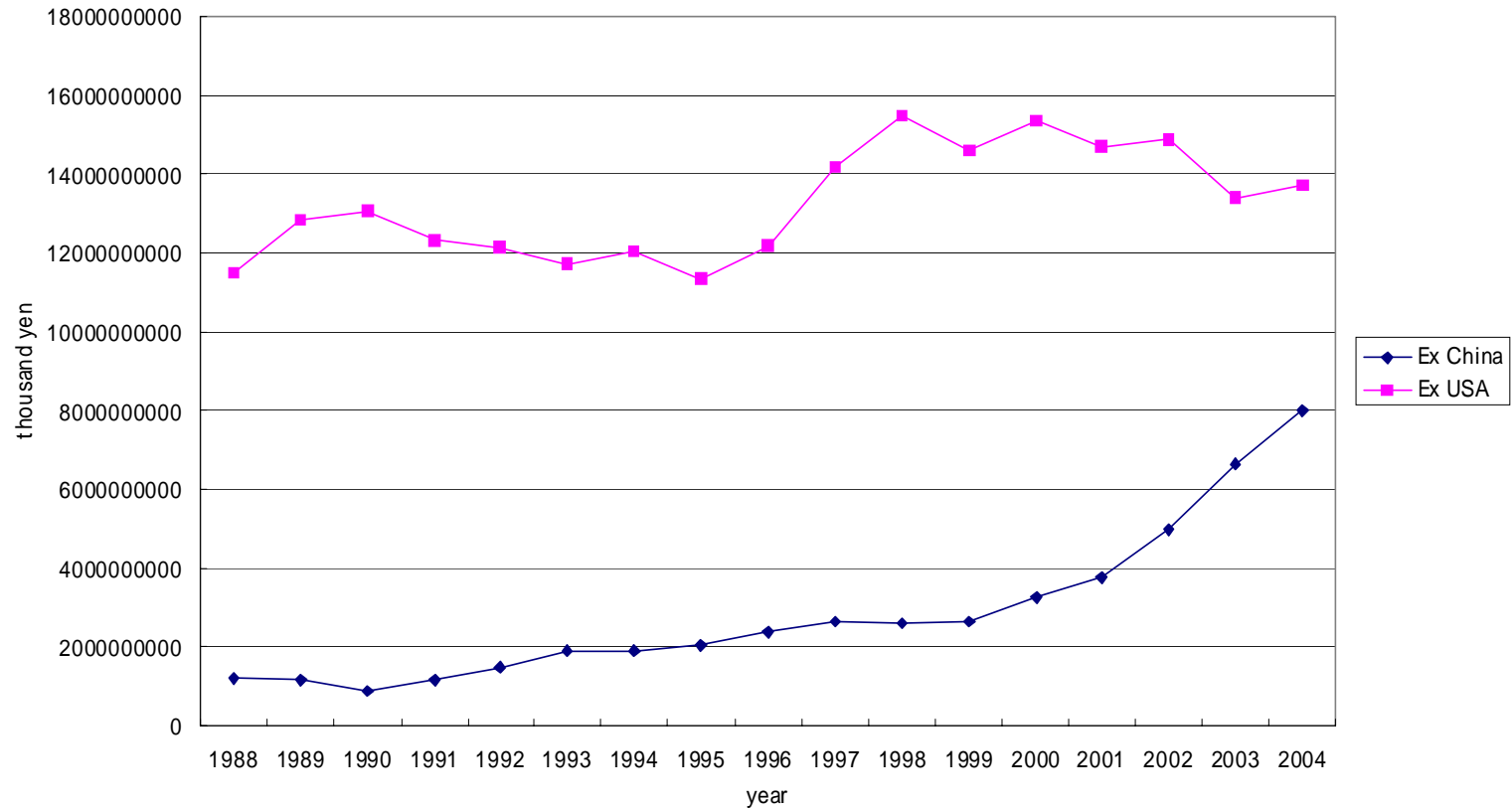


国際政経シンポジウム(2005.12.3)
東アジアにおける国際金融為替秩序の
形成についてのコメント

二松学舎大学
手島茂樹

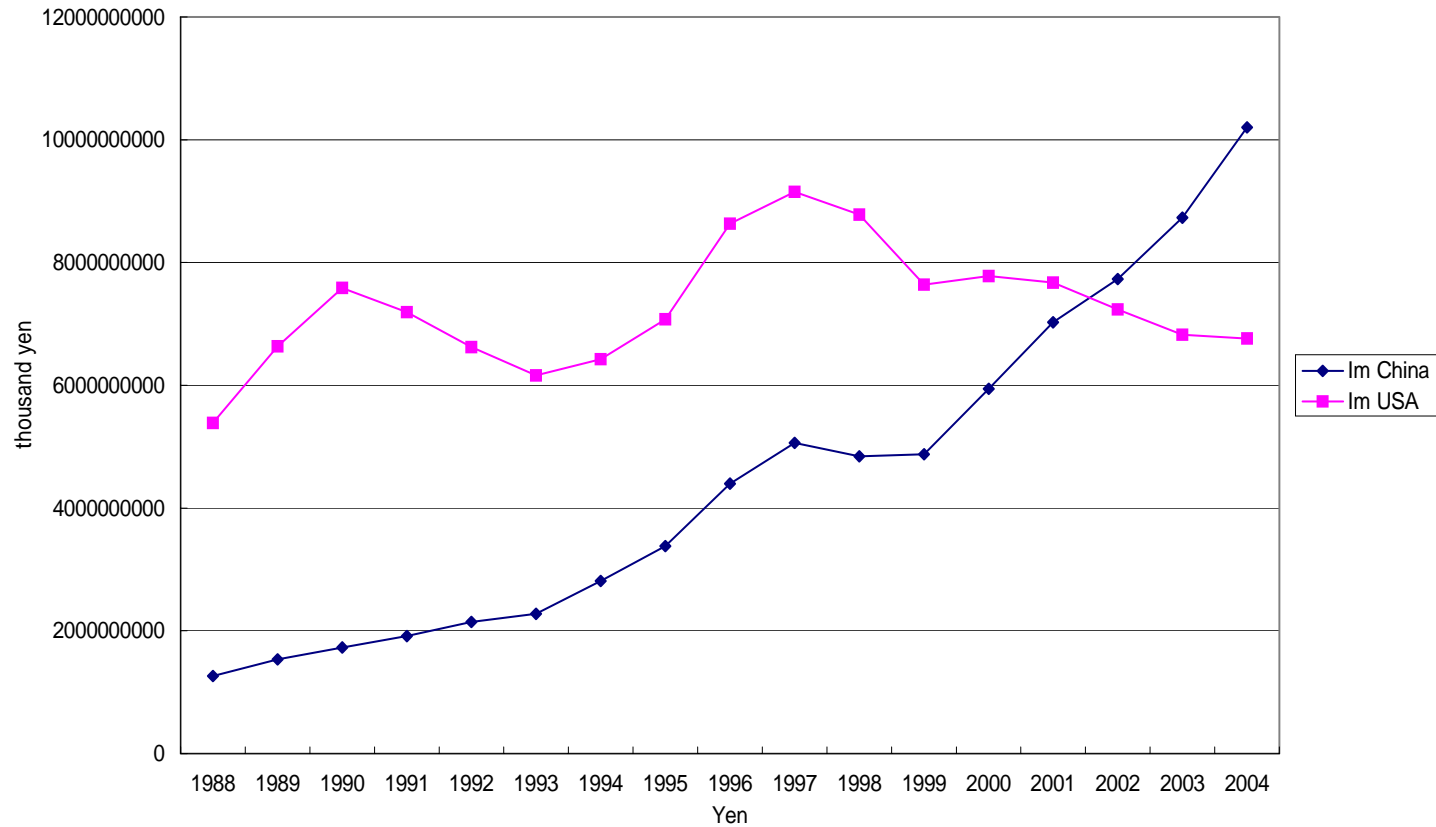
グローバル化のもとでのリージョナリゼーションの進行(1)(財務省データより筆者作成)(日本の対米輸出と対中国輸出)

Japan Export to USA China



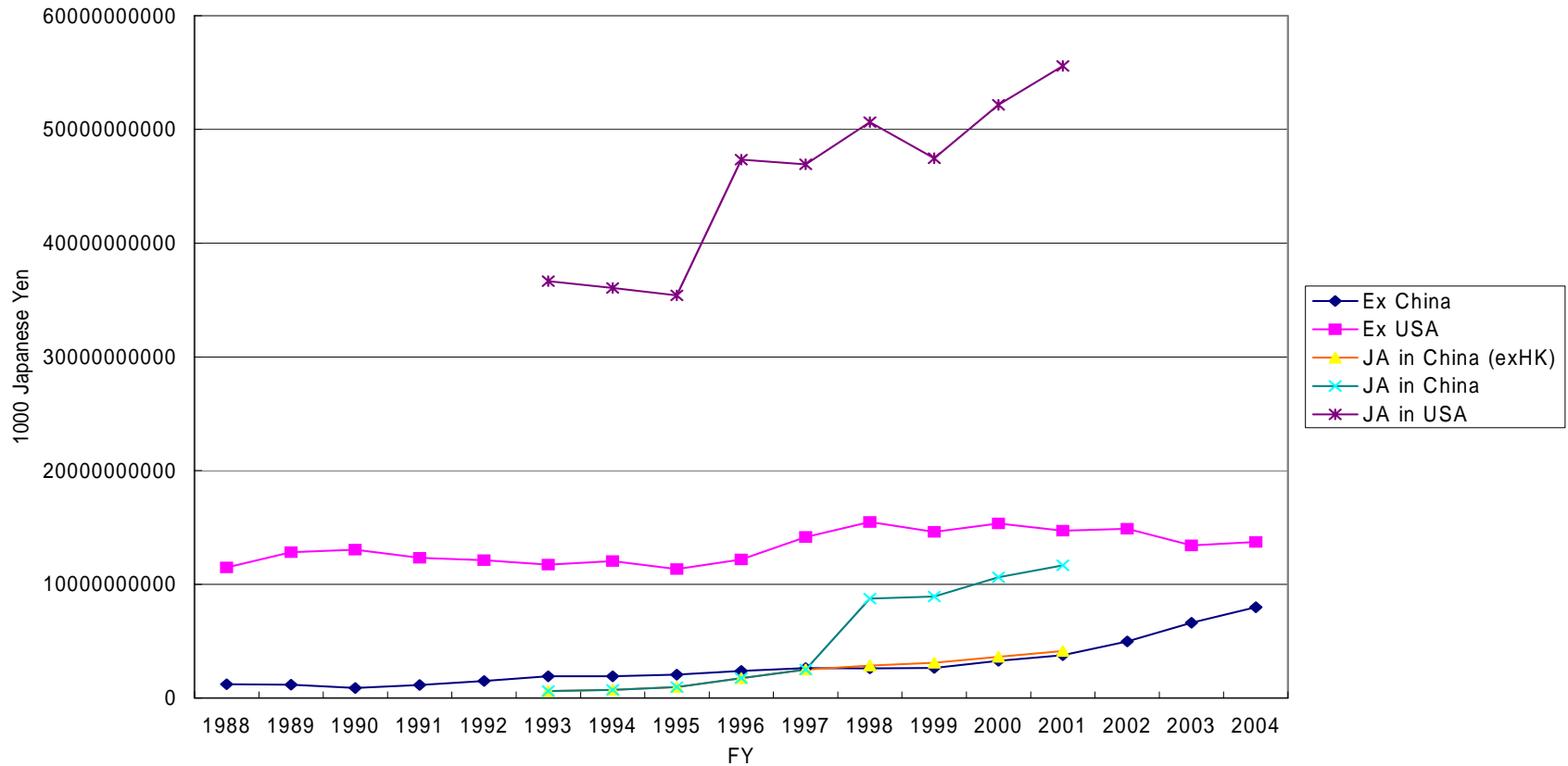
グローバル化のもとでのリージョナリゼーションの進行(2)(財務省データより筆者作成)(日本の米国からの輸入と中国からの輸入)

Import from USA China



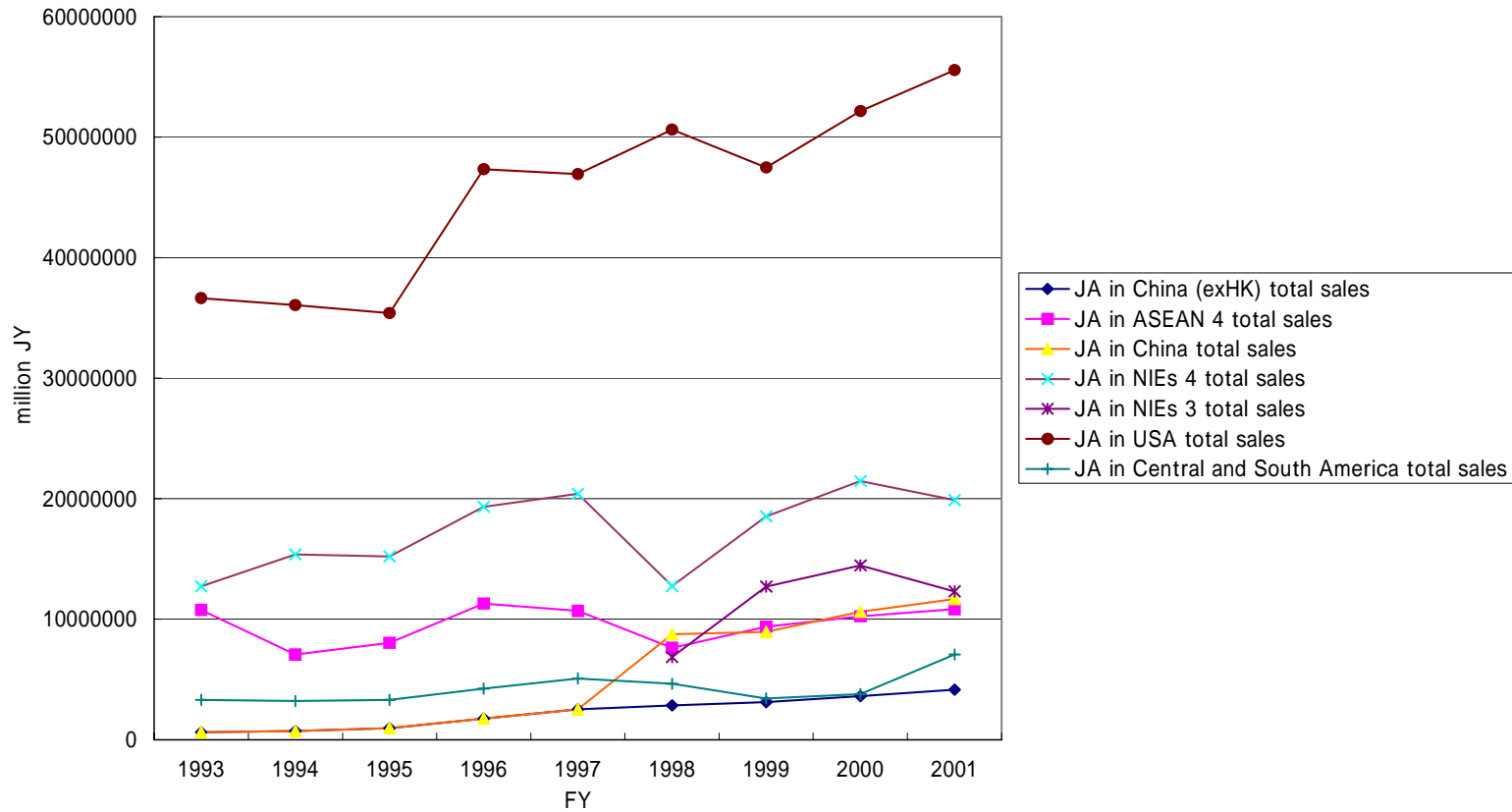
グローバル化のもとでのリージョナリゼーションの進行(3)(財務省および経済産業省データより筆者作成)(米国における日系現地法人の売り上げは圧倒的に大きい)

Japan's Export to USA, China and Japanese Affiliates' sales in USA and China



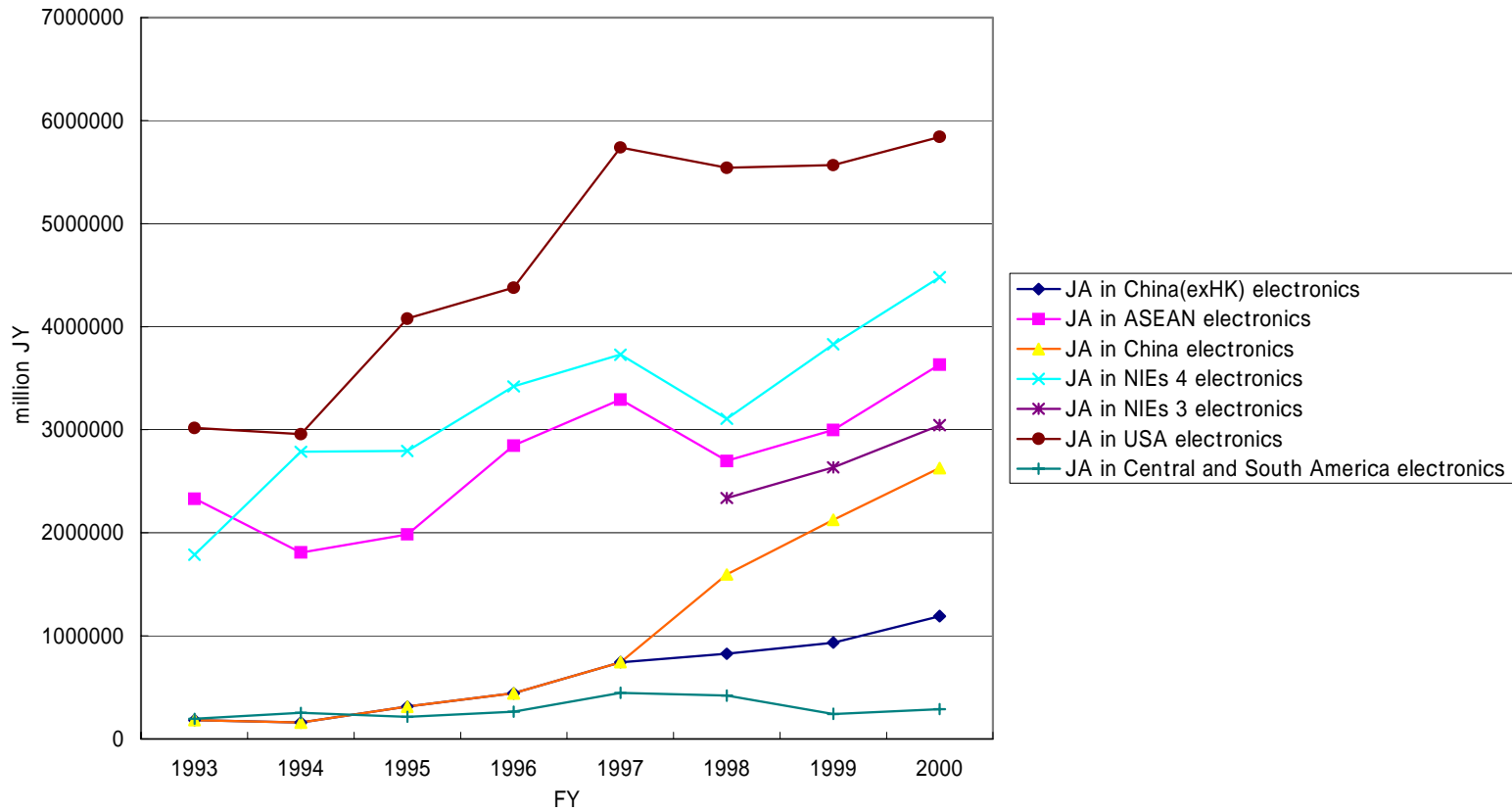
グローバル化のもとでのリージョナリゼーションの進行(4)(経済産業省データより筆者作成)(米国における日系現地法人の売り上げは圧倒的に大きい(2))

Japanese affiliates total sales by region



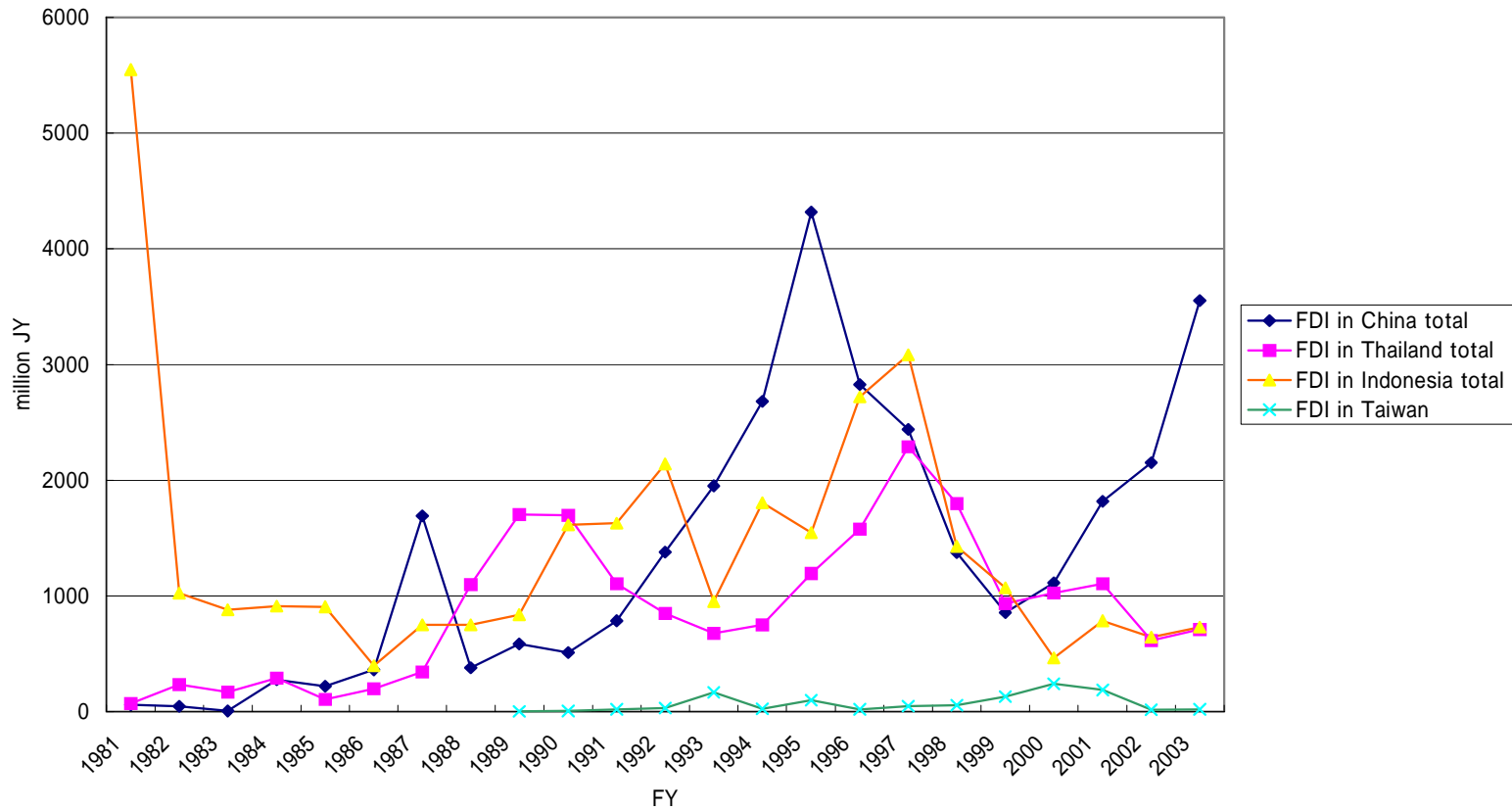
グローバル化のもとでのリージョナリゼーションの進行(5)(経済産業省データより筆者作成)(電気機械産業においてはアジアにおける日系企業の売り上げも大きい)

Japanese Affiliates electronics sales by region



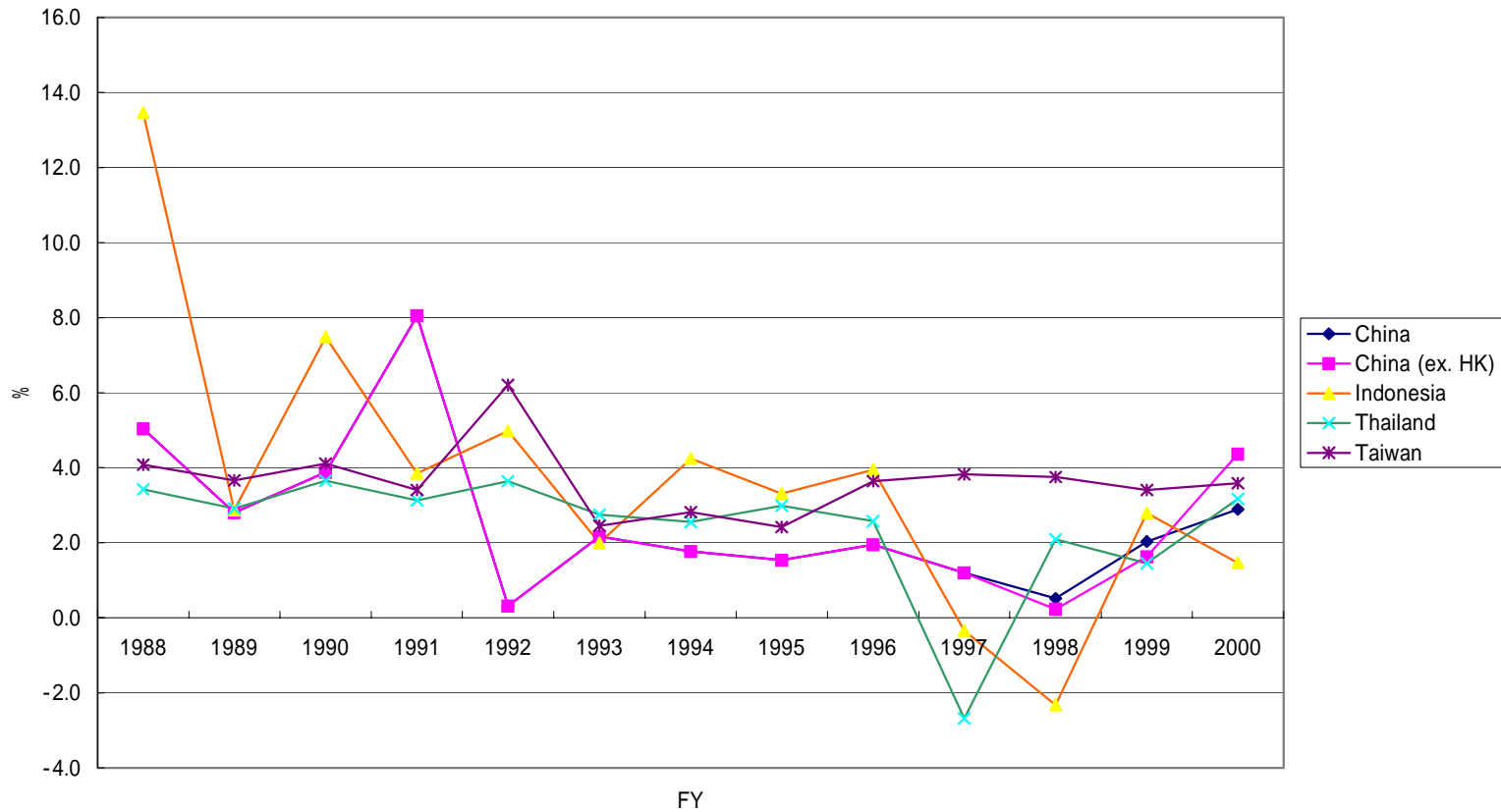
日本の対中国、タイ、インドネシア向け投資 (財務省データより筆者作成)

J FDI in Thailand, Indonesia, Taiwan and China



中国、タイ、インドネシア、台湾における日系企業の収益性(売上高経常利益率)(経済産業省データより筆者作成)

Japanese affiliates sales profit ratio all industry



日本企業の競争力の現状;IT化・モジュール化のもとで競争力を保持する産業と競争力を喪失した産業の分類(マトリックス)(筆者作成)

<p>需要特性</p> <p>供給特性</p>	<p>(イ) 高価格・高付加価値な「特殊品」を選好する大規模需要</p>	<p>(ロ) 低価格の「普及品・汎用品」を選好する大規模需要。</p>
<p>(1) 製品としても部品としても、「特殊品」としての特性を保持</p>	<p>(A) 日本企業は、十分な国際競争力を保持(自動車)。</p>	<p>D) 日本企業は需給のミスマッチにより急速に競争力を失う。</p>
<p>(2) 製品としては、速やかに「汎用品・普及品」に移行するが、部品・設計等、「特殊品」としての特性を保持しつづける。</p>	<p>(B) 「特殊品」としての特性を保持しつづけられる限り日本企業は国際競争力を保持(高付加価値部品、・高付加価値素材)。</p>	<p>(E) 日本企業は需給のミスマッチにより急速に競争力を失う。</p>
<p>(3) 特殊品から速やかに「汎用品・普及品」に移行する製品・部品</p>	<p>(C) 日本企業は供給面で国際競争力を持たない。</p>	<p>(F) 日本企業は需給両面から国際競争力を持たない。</p>

東アジアにおける国際金融為替システム構築の必要性

- 貿易と直接投資・海外事業との一体化(企業内貿易、産業内貿易)
- アジア域内貿易の拡大
- 貿易決済に占めるドル建て比率の高さ
- 再度の危機の回避
- 自由化と発展の成功モデルの形成

東アジアにおける国際金融為替システム構築の困難さおよび留意点

- 自由化と発展の成功モデルの確立？
- 地域共同体としての合意形成？
- 大きな経済格差の調整
- 国際金融・資本市場の未成熟
- 日本の主導的役割
- 危機の回避のための装置と長期的な国際公共財としての地域金融為替システムの構築。